



2019年度 プロジェクト

「海のお仕事プロジェクト ～海と人と人をつなぐ～」 実施報告書



目次

- 事業概要
- 全体総括
- 事業全体像
- 事業施策詳細
 - 体験事業
 - WEB事業
- メディア掲載

事業概要

事業名称	海のお仕事プロジェクト ～海と人と人をつなぐ～
主催	海のお仕事図鑑プロジェクト実行委員会 日本財団「海と日本プロジェクト」
事業目的	「海のお仕事」をテーマにおくことで、子どもたちが普段の生活からは気づきにくい産業・文化などの視点で「海」と向き合うことによって、「海」の現況を知り、「海」を身近に感じ、「海」の問題を自分ごととしてとらえるきっかけを創るとともに、「ものごと」を多面的に見る力を養ってもらうことを目的としています。
事業施策	<p>【WEB事業】</p> <ul style="list-style-type: none">• 「海のお仕事図鑑」WEBの制作 <p>【体験事業】</p> <ul style="list-style-type: none">• 「海のお仕事」体験イベントの企画・運営• 子どもたちを表彰する「海のお仕事 こども会議」の企画・運営

全体総括

□お仕事図鑑の体験プログラムの構築について

- 2019年度『海のお仕事図鑑プロジェクト』は、子どもたちが“リアル”な海のお仕事に触れることにより、海水浴等のレジャーとしての「海」だけでなく、私たちの日々の生活を支える産業や文化など多角的な視点からの「海」を知ることにより、「海」を身近に感じ「海」の問題をより深く自分ごととして考えるきっかけを創りたい、また、その過程で「ものごと」を多面的に捉える力を養ってほしいと、との思いから企画しました。
- 本プロジェクトで実施したお仕事体験は、「実際の仕事現場で、本物の仕事体験を、仕事の達人が提供すること」をテーマにおき、子供達に「CHANCE(機会)」・「CHALLENGE(挑戦)」・「CHANGE(変化)」の3Cを提供することを目標に、実際の「仕事の達人」でもある協力事業者の方々とプログラムを設計・構築しました。
- 単なる「体験」ではない、「お仕事」として子どもたちに捉えてもらえるように、楽しいだけでなく、一定の責任感・緊張感をもって取り組めるストーリーづくりや体験の流れ、スタッフの振る舞いや小道具などを用いて夢中になれる世界観づくりを強く意識したものとなっております。
- また、プログラムの構築にあたっては、協力事業者において次年度以降の「自走」を前提とした継続実施の可能性を模索した内容および収支計画を念頭においたものいたしました。

□お仕事体験の成果について

- 実際にお仕事体験に臨んだ子ども達からは、緊張感を帯びつつもイキイキとした真剣な表情を見ることができ、その成果は子ども達に作成してもらったアウトプット（お仕事後に記載してもらった日報としてのレポート）からも読み取れるものとなりました。体験後に実施した「お仕事会議」の場での子ども達からのインタビューからも「海」の環境問題に対するコメントが聞かれるなど、体験中、直接的な言及をしていない点の話題があがり、海を多面的に捉えるきっかけづくりにもつながった部分も見ることができました。その上で参加した子ども達全員がアンケートでも「楽しかった」と評価してくれており、また、保護者の方々からも一過性の体験ではない経験を積むことができたとの評価をいただいたことなどから、目標としていた一定の成果をあげることができているのではないかと考えております。
- また、連携して取り組みを実施した協力事業者のうち、9事業者より「自走」を前提としてでも、次年度以降の継続実施意向をいただくことができました。有効な関係性を構築できたことはもとより、今回実施したプログラムが各事業者や属する地域にとって有用なものとして評価いただいた結果であり、その点で非常に大きな成果をあげることができたのではないかと考えております。
- さらに全15回のプログラムを実施する中で、その内容の精度をあげるために改善を行ってまいりました。子ども達をお仕事モードに切り替えるための「朝礼」・「入社式」の内容設定、仕事の目標を、座学を含めた研修や複数の業務によって立体的に触れてもらうことでの深い理解につなげる設計、集中力を維持するためのテンポの良さ、世界観の構築や一体感を与えるための小道具の準備など、回を重ねる毎にブラッシュアップした内容を、次年度以降のプログラム設計にも有用な1つのマニュアルにまとめることができました。

□WEBに係る取組について

- 海のお仕事図鑑WEBでは、子どもたちが海のお仕事との“接点を持つこと”を焦点に当てて構築しました。全31種のお仕事を海のお仕事プロフェッショナルから直接的に“リアルな”声をインタビューして掲載することで、平面的な情報ではなく「思い」の入った情報(内容)を整備することができました。
- また、海のお仕事に興味をもつきっかけづくりを目的として、娯楽性をもたせたコンテンツ「海のお仕事診断」を制作いたしました。一定のロジックと統計的指標を活用して、選択した結果でお仕事適正が出る内容で、約2,200人に実施頂きました。
- これらのコンテンツと、オリジナルの親しみやすいイラスト・サイトデザインを採用することで、「海のお仕事」という尖ったコンテンツでありながら一般にも受け入れやすい内容になり、google検索で「海」「仕事」のワードでの検索順が3番目にあがる状態をキープしています。結果として、6月の立ち上げ時から11月までの期間で、約70,000PVに達し、リニューアルサイト初年度にして、多くの方と「海のお仕事」との接点を創出できました。
- さらに普遍性のある情報・コンテンツであるため、次年度以降も継続的に使用できる価値あるものとなったと捉えております。

□今後に向けた課題について

本プロジェクトでは全体として良い成果をおさめることができたと考えておりますが、以下の2点は今後の改善課題と捉えております。次期実施に際しては、これらも踏まえ、かつ、更に「漁→物流→加工→販売」など海・仕事・生活の全体感を立体的に感じ取れるようなストーリー性を強化した取組みにもチャレンジしていきたいと考えます。

- 個々のお仕事体験プログラムの内容について
個々のお仕事体験プログラムの中には、特に自走を前提とした場合、そのプログラムの構築等で精度をあげることに限界のあるものも一部存在しました。具体的には、講師力(自体のレクチャーや子ども達を巻き込む力レベル)と内容(テンポの良さや、流れのわかりやすさ)などです。特に後者については、本年度の経験から選定の段階である程度気づくことができることから、次期実施する場合には適切に対応していきたいと考えております。
- 波及効果の最大化について
子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」と連動すること、及びアーティストと連動することによってWEBまわりでの波及効果の最大化は図ることができました。一方で、テレビや新聞等のマスメディアでの露出が限定的となったことから、次期はこれらのマスメディアからの波及効果の最大化も図ってまいりたいと考えております。

事業全体像

海のお仕事体験プログラム

子どもたちが海のお仕事を通して多角的な視点での深い気づきを得る

体験事業

海のお仕事 こども会議

子どもたちがお仕事体験を振り返り、子どもたちの表彰を行う

相関関係

WEB事業

海のお仕事図鑑WEB

子どもたちが海のお仕事に触れる“きっかけ”を創出する

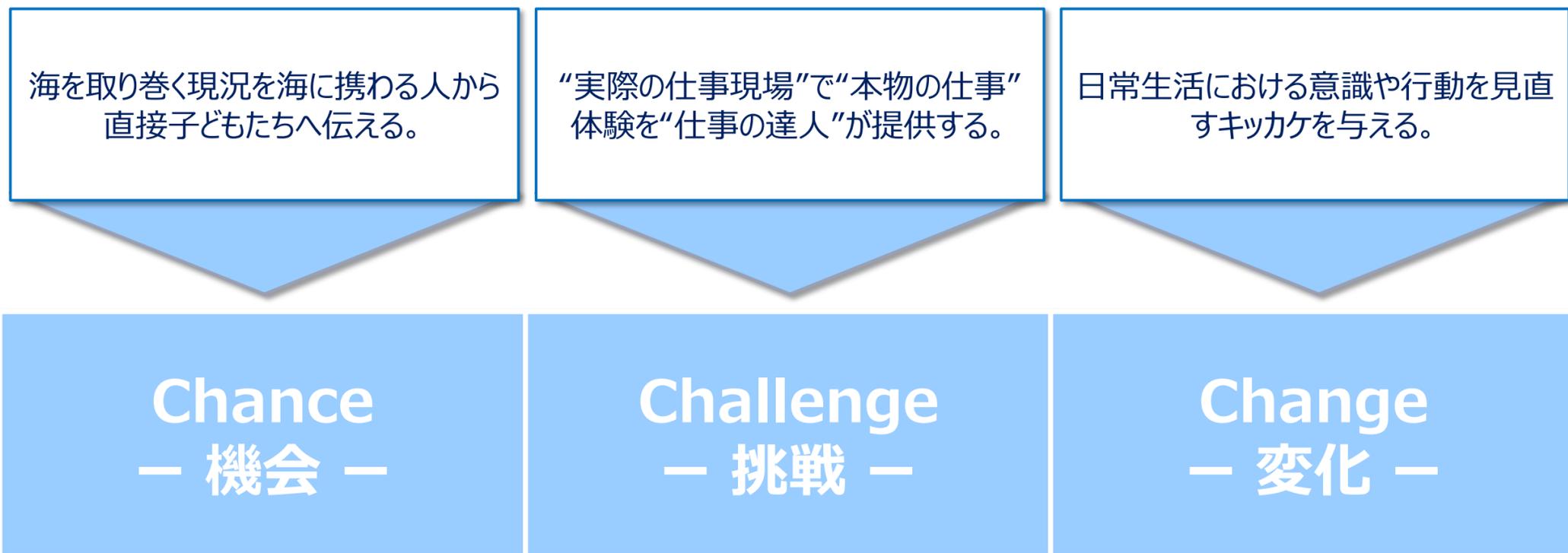
事業施策詳細 - 体験事業 -

企画設計の要旨等

■コンセプト

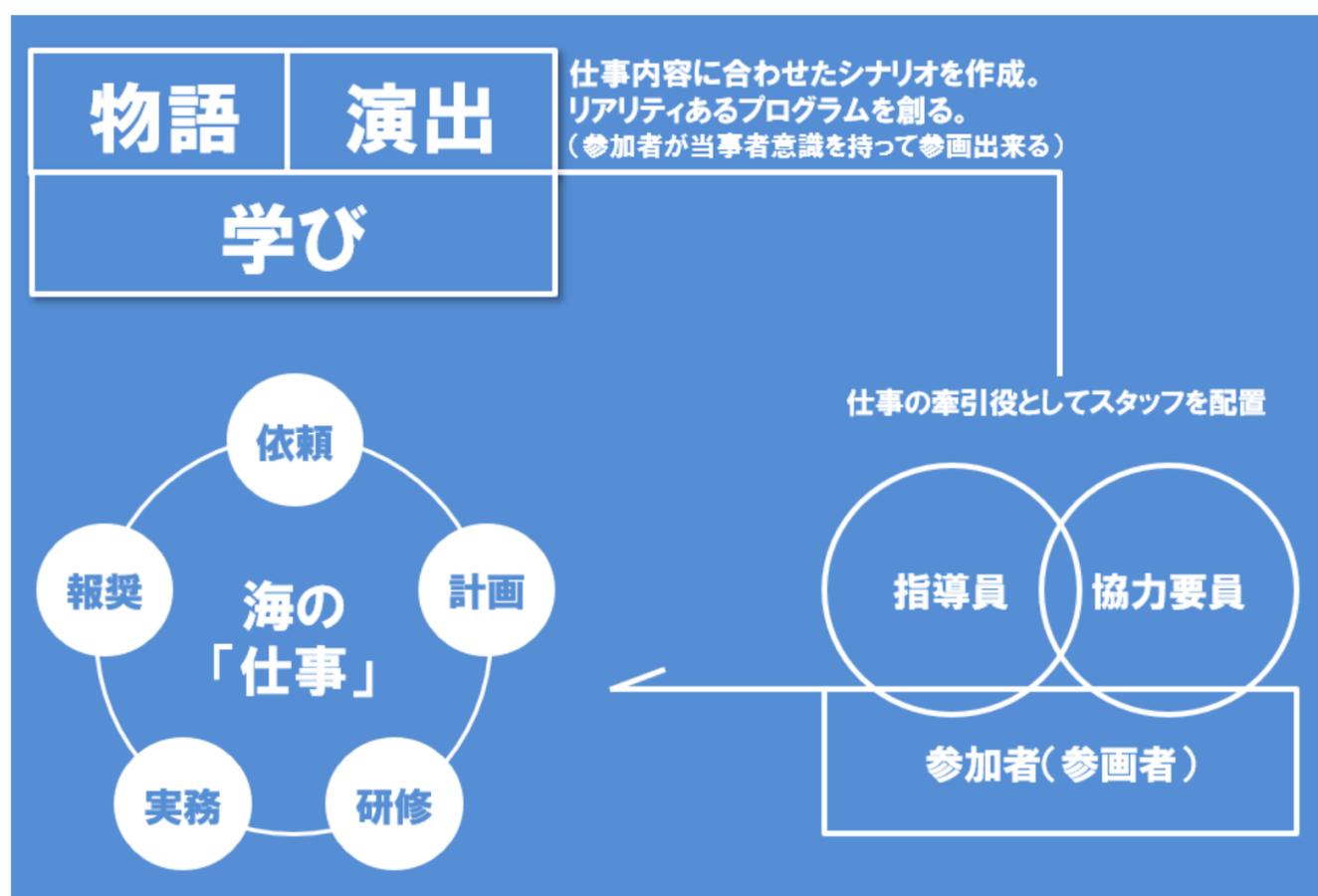
体験事業の本質的な目的や世界観づくりに係る指針を策定

【共通テーマ】“実際の仕事現場”で“本物の仕事”体験を“仕事の達人”が提供する。



■世界観作りの施策

“リアルな”なお仕事体験を創出するためのストーリーを設計



■ お仕事の流れ

全てのお仕事体験にお仕事の流れを組み込み実施しました。

入社式



自己紹介や挨拶を実施。子どもたちの気持ちを「お仕事モード」に切り替える非日常感を演出しました。

※各お仕事ごとに依頼(ミッション)を用意し、その達成に向かって「研修～お仕事」を行いました。

研修



フリップやホワイトボードを用いた座学の実施。お仕事を立体的に捉えられるように工夫しました。

お仕事



1つの作業体験で終始せず、お仕事ミッションに対して複数の「業務」を実践しました。

レポート作成



お仕事を実施して感じたこと、学んだことを振り返る時間を設け、記憶と記録に残せるようにしました。また、自由研究にも活用できるものとして準備しました。

給与の受け取り



お仕事を終了した証として、給与(イベント専用のお金)と名刺を授与しました。

お買い物



イベント専用のお金を使って、「海のお仕事図鑑」特設店でお買い物をしました。

各イベントの概要等

■ イベント基本情報一覧

イベント名	受入事業者名	開催場所	開催日	参加人数
観光船(イルカウォッチ)のお仕事をしよう!	有限会社銚子海洋研究所	千葉県・銚子	7月20日(土)	計8名 (子ども4名、大人4名)
ライフセーバーのお仕事をしよう!	Plan I株式会社	茨城県・館山	7月21日(日)	計19名 (子ども10名、大人9名)
水族館のお仕事をしよう!(1回目)	下田アクアサービス株式会社 (下田海中水族館)	静岡県・下田	8月3日(土)	計20名 (子ども8名、大人12名)
定置網漁業のお仕事をしよう!	網代漁業株式会社	静岡県・熱海	8月4日(日)	計16名 (子ども8名、大人8名)
ひもの作りのお仕事をしよう!	株式会社春海水産	神奈川県・小田原	8月10日(土)	計8名 (子ども4名、大人4名)
海の観光PRのお仕事をしよう!	館山市役所	千葉県・館山	8月24日(土)	計10名 (子ども5名、大人5名)
水中カメラマンのお仕事をしよう!	館山ダイビングサービスSARA	千葉県・館山	8月25日(日)	計12名 (子ども6名、大人6名)
ネイチャーガイドのお仕事をしよう!	特定非営利活動法人伊豆自然学校	静岡県・西伊豆	8月31日(土)	計11名 (子ども6名、大人5名)
簀立て漁のお仕事をしよう!	網元つぼや	千葉県・木更津	9月1日(日)	計24名 (子ども12名、大人12名)
漁師(船上)のお仕事をしよう!	大洗町漁業組合	茨城県・大洗	9月14日(土)	計10名 (子ども5名、大人5名)
ヨットを造る! 運航するお仕事をしよう!	特定非営利活動法人大洗海の大学	茨城県・大洗	9月15日(日)	計14名 (子ども7名、大人7名)
浜の調理師のお仕事をしよう!	特定非営利活動法人大洗海の大学	茨城県・大洗	9月16日(月)	計10名 (子ども5名、大人5名)
マリンスポーツショップのお仕事をしよう!	マリブポイント株式会社	千葉県・勝浦	9月21日(土)	計7名 (子ども4名、大人3名)
海苔作りのお仕事をしよう!	木更津金田の浜活性化協議会	千葉県・木更津	9月22日(日)	計16名 (子ども8名、大人8名)
水族館のお仕事をしよう!(2回目)	下田アクアサービス株式会社 (下田海中水族館)	静岡県・下田	10月26日 (土)	計6名 (子ども3名、大人3名)

■ 各イベントの実施概要(レポート記事より抜粋)



観光船(イルカウォッチ)のお仕事をしよう!

このお仕事ミッションは、夏休みが始まり大忙しのイルカウォッチングの観光船を、力を合わせてサポートすること。そして、一般のお客様を船にご案内して、たくさんのイルカを見せてあげることです。子どもたちが行った業務は、一般のお客様の受付、乗船前の案内、乗船時のお客様アテンド、お客様が観覧するイルカ探索・案内業務などです。お仕事を通じて、海のお仕事は危険と隣り合わせで、細かい点まで安全に配慮する必要があることを学び、さらには、お客様を喜ばせるため船の2階に上がってイルカを一生懸命探すなど、見えない場所での努力があることを知り、「大変だったけど、またやってみよう」など、やりがいを実感させる感想が上がりました。子どもたちは、働く側に立ったからこそその達成感、思い通りにはならない海という自然とその魅力を味わい、視野が広がる貴重な体験をすることができました。ご家族にとっても子どもの成長を感じられた素敵な1日となったようです。



ライフセーバーのお仕事をしよう!

このお仕事ミッションは、みんなで力を合わせてライフセーバーさんをサポートし、そして海水浴客の安全を守ることです。「海・人を守る。人の為に尽くす。自分が強くなければ人を守ることはできない」というライフセーバーの心得を学びながら、色々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、ビーチクリーンや案内放送、ビーチ/水上パトロール業務などです。お仕事を通じて、海は楽しいだけでなく、危険がひそんでいること。人の命を守るためには、自分自身が強くあること、そして仲間と協力し合うことを学びました。いつもは守ってもらう側の子供たちが、人を守る側の立場に立つことによって、様々なことを違った角度から見つめ、考え、そして人のために尽くすことの素晴らしさを知ることができた貴重な1日となったようです。



水族館のお仕事をしよう!

このお仕事ミッションは、イルカショーで活躍するイルカのお世話をすることです。「水族館の役割は、海の生き物のお世話だけではなく、海の自然保護や調査研究も担っている」ということを学びながら、色々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、イルカの食事の準備、健康状態のチェック、サインを使用したイルカトレーニングなどです。お仕事を通じて、「海の生き物が元気に暮らせるように、海を汚さないようにすることが大切」などたくさんの気づきを得ることができました。水族館の飼育員という目線から、海の生き物や海の環境を守る大切さを学ぶことができた貴重な1日となったようです。

事業施策詳細 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



定置網漁業のお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、網代漁港で定置網と蓄養のお手伝いをすることです。「江戸時代から続く漁法に触れて、漁業や海を守る大切さ」を学びながら、お仕事にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、ロープワーク研修、定置網内への餌の投げ入れ(蓄養業務)などです。お仕事を通じて、「漁師さんが努力して魚を獲っていることを知り、これからは魚を残さず食べようと思った」などたくさんの気づきを得ることができました。定置網漁師という目線から、漁業や海の環境を守る大切さを学ぶことができた貴重な1日となったようです。



ひもの作りのお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、獲れたて地魚の干物を届けることです。お仕事体験を通じて、海の恵みに感謝することを学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、注文とり、ひもの作り、納品業務などです。お仕事を通じて、「海にたくさんの種類の魚がいることを知った」「魚を大切にしようと思った」などたくさんの気づきを得ることができました。子どもたちにとって、世の中にたくさんあるお仕事のうちのひとつ“海のお仕事”がどんなものなのか、実際に経験し、多くの学びを得た貴重な1日となったようです。



海の観光PRのお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、お友だちや知り合いに館山の海の素晴らしいところを紹介できるようになることです。観光課の職員の方の地域愛と努力を学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、魚のみりん干し作り、貝細工作り、水族館での業務などです。お仕事を通じて、「館山のお魚をたくさん知ることができたので、渚の駅にお友だちを連れてきて案内したい」「今日学んだお魚のことや観光のお仕事について、いここに教えてあげたい」などたくさんの気づきを得ることができました。子どもたちにとって、改めて海の魅力に気づき、さらにそれを伝える大切さを習得した貴重な1日となったようです。

事業施策詳細 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



水中カメラマンのお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、館山の海の魅力を多くの人に伝えるために、“渚の駅”たてやまに展示する水中の写真を撮影することです。一般的なカメラマンとは違った特別な知識を学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、シュノーケリング研修、2名1組での水中撮影などです。お仕事を通じて、「泳いでいるお魚をこんなに近くで見たのは初めて！ かわいいお魚たちのためにも海を汚さないようにしたいと思いました」などたくさんの気づきを得ることができました。水中カメラマンという目線から、様々な海の魅力に触れ、さらには綺麗な海を守っていく大切さを学ぶことができた貴重な1日となったようです。



ネイチャーガイドのお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、どう伝えれば海や自然に興味を持ってもらえるか考えながら、トンボロを探索することです。海を守るためのマナーも学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、堂ヶ島の独特な地形(トンボロ現象)についての研修、海の生き物調査業務などです。お仕事を通じて、「ゴミの始末や、持ち物を管理するのもネイチャーガイドの役目である」などたくさんの気づきを得ることができました。子どもたちにとって、海の珍しいトンボロ現象や生き物の専門的な知識を身につけ、さらに海を守るためのマナーも学んだ貴重な1日となったようです。



簀立て漁のお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、簀立て漁で魚や貝を捕ることです。伝統漁法である簀立て漁のやり方を学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、海の安全チェック、簀立て内での漁業務などです。お仕事を通じて、「小さな魚を海に返してあげることで来年また美味しく食べられることを知った」などたくさんの気づきを得ることができました。簀立て漁師という目線から、食物連鎖と命の大切さを知り、海の生き物への興味がさらに深まった貴重な1日となったようです。

事業施策詳細 - 体験事業 -

【海のお仕事体験プログラム】



漁師（船上）のお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、「一艘びき漁」で新鮮な魚を獲ることです。大洗の海の特徴やどんな魚がいるのかを学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、一艘びき漁での網の引き上げ業務などです。お仕事を通じて、「あんなに揺れる船の上で毎日働いている漁師さんはすごいと思った」などたくさんの気づきを得ることができました。漁師というお仕事の大変さを、身をもって体験できたと同時に、楽しさを見出すことことで、それがお仕事のやりがいに繋がることを知り、うんと成長できた貴重な1日となったようです。



ヨットを造る！ 運航するお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、海ゴミを回収するためのヨットを造ることです。海のゴミ問題やプラスチックゴミを減らす方法などを学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、ヨット床面のFRP樹脂塗装、船上でのセイル上げ業務などです。お仕事を通じて、「ゴミ問題を解決するために、ヨットのお仕事をするとすごいなと思った」などたくさんの気づきを得ることができました。子どもたちにとって、海について、様々な角度から考えるきっかけを作ることができた貴重な1日となったようです。



浜の調理師のお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、大洗の漁師さんに元気を届けるべく、地元の新鮮な魚を使ってお弁当を作ることです。働く人を元気にするための栄養面もしっかりと学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、お弁当の調理(獲れたてのサンマをさばくところから)、お弁当詰め業務などです。お仕事を通じて、「調理師の仕事は大変だけど、作ったご飯を食べて喜んでくれる人がいるのは良いと思った」「お弁当を作ってくれる人がいるから、漁師さんたちは元気なんだなと思った」「これからはお母さんが作ってくれるお弁当を残さず食べたい」などたくさんの気づきを得ることができました。

子どもたちにとって、栄養のあるお弁当を、心を込めて作ることで、頑張っている人を支えることができる。縁の下の力持ち役を経験することで、相手を想うことの大切さを知ることができた貴重な1日となったようです。



マリンスポーツショップのお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、ショップ店員の目線から海の魅力や安全対策を学び、少しでも多くの人に海で楽しく遊んでもらうことです。海の問題についても学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、アクティビティ準備(SUP)、お客様の受付・ご案内、ビーチクリーン業務などです。お仕事を通じて、「お友達にも、ゴミは自分で持ち帰らなくてはいけないと教えたと思います」などたくさんの気づきを得ることができました。子どもたちにとって、海で楽しく遊ぶために見えないところで働く人がいること、そして海で遊ぶ一人一人も海を汚さないという意識を持つことが大事だと知った貴重な1日となったようです。



海苔作りのお仕事をしよう！

このお仕事のミッションは、昔ながらの海苔作りの方法を学び、おいしい海苔を作ることです。海の問題についても学びながら、様々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、海藻の刻み、海苔すき、天日干し業務などです。お仕事を通じて、「東京湾の海苔漁師さんが減ったと聞き、海苔が貴重な食べ物だと知りました。海苔漁師さんの大変さを知ったので、お友達にも残さず食べてねと教えてあげたいです」などたくさんの気づきを得ることができました。子どもたちにとって、海の伝統と環境を守る大切さを実感した貴重な1日となったようです。



水族館のお仕事をしよう！(2回目)

このお仕事のミッションは、イルカショーで活躍するイルカのお世話をすることです。「水族館の役割は、海の生き物のお世話だけではなく、海の自然保護や調査研究も担っている」ということを学びながら、色々な業務にチャレンジしました。子どもたちが行った業務は、イルカの食事の準備、健康状態のチェック、サインを使用したイルカトレーニングなどです。お仕事を通じて、「飼育員さんは自分では気づくことができないイルカの状態に気づくことができるとすごいと思った」などたくさんの気づきを得ることができました。水族館の飼育員という目線から、海の生き物や海の問題を守る大切さを学ぶことができた貴重な1日となったようです。

イベント実施結果の総括

お仕事体験プログラムについては、コンセプト設計からプログラム内容の構築まで、精緻な検討と協力事業者との密なイメージのすり合わせを経た上で実践していたこともあり、有料イベントであるにもかかわらず、総じて参加者から高い評価を得ることができ、客観的にも相応の質を担保できていたと考えております。特に、子供達のレポート(アウトプットとしての日報)は、一日の仕事内容の振り返りを行うことで一過性の体験に終わらせないものとなったこと、及び小学生の「自由研究」の課題にもなりうるものとしたことで保護者からも非常に高い評価が得られました。なお、運営視点で個々のプログラムを俯瞰してみたところでは、体験の中身や参加者の反応など、一定の差異を感じたため定量的な評価を行い、都度、内容を改善し、結果、ベースとしての質は上昇したことも高い評価につながったと考えております。一方、自主評価を行う中で、都度対応では抜本改善につながりにくい項目(講師の力量やテンポ感などの点で体験として向いていない仕事の存在など)もあることを認識するとともに、その点では改善しきれなかった点も存在します。これらについては選定の段階から強く意識し、厳選するなどの適切な対応をしていきたいと考えます。

また、「自走継続化」も目標においた取組みとして有償かつ汎用性のあるイベント設計を心がけましたが、結果として9つの事業者(全10イベント)より次年度も自走を前提とした継続実施表明を頂きました。

本年度の経験で培ったノウハウや、選定上の意識すべき事項等も踏まえ、十分な検討を行って厳選した事業者・イベントでの自走化に向けた取組みを実践してまいります。

■ 継続意向事業者一覧

イベント名	継続実施事業者名
観光船(イルカウォッチ)のお仕事をしよう！	有限会社銚子海洋研究所
ライフセーバーのお仕事をしよう！	Plan I株式会社
水族館のお仕事をしよう！	下田アクアサービス株式会社 (下田海中水族館)
定置網漁業のお仕事をしよう！	網代漁業株式会社
ひもの作りのお仕事をしよう！	株式会社春海水産
漁師(船上)のお仕事をしよう！	大洗町漁業組合
ヨットを造る！運航するお仕事をしよう！	特定非営利活動法人大洗海の大学
浜の調理師のお仕事をしよう！	特定非営利活動法人大洗海の大学
水中カメラマンのお仕事をしよう！	館山ダイビングサービスSARA
マリンスポーツショップのお仕事をしよう！	マリブポイント株式会社

次年度以降は、上記の継続意思表明頂いた事業者より適正なイベントを5つ選定し、プログラム内容のブラッシュアップ・イベント実施を行うとともに、新規のイベントを15件企画・開発の実施を予定しております。

■ イベント総括補足資料① (自主評価)

※お仕事の夢中度を図るために任意に設定した定量評価指標。

イベント名	緊張感	一体感	内容のバランス	講師レベル	合計(夢中度)
観光船(イルカウォッチ)のお仕事をしよう!	2.6	2.9	2.5	2.0	10.0
ライフセーバーのお仕事をしよう!	5.0	4.8	5.0	5.0	19.8
水族館のお仕事をしよう!	5.0	4.7	5.0	5.0	19.7
定置網漁業のお仕事をしよう!	4.0	4.0	4.5	5.0	17.5
ひもの作りのお仕事をしよう!	5.0	5.0	4.8	5.0	19.8
海の観光PRのお仕事をしよう!	2.7	2.7	2.9	3.0	11.2
水中カメラマンのお仕事をしよう!	4.2	3.8	4.6	5.0	17.6
ネイチャーガイドのお仕事をしよう!	4.0	4.5	5.0	5.0	18.5
簀立て漁のお仕事をしよう!	2.7	3.0	2.8	2.0	10.5
漁師(船上)のお仕事をしよう!	4.8	4.3	5.0	5.0	19.1
ヨットを造る! 運航するお仕事をしよう!	3.8	4.3	3.2	3.5	14.8
浜の調理師のお仕事をしよう!	4.5	4.5	4.0	3.0	16.0
マリンスポーツショップのお仕事をしよう!	3.8	3.8	3.8	4.0	15.4
海苔作りのお仕事をしよう!	3.0	3.3	3.8	3.5	13.5

- ※緊張感 : 子どもたちが仕事に対して責任を持つことができたか
- ※一体感 : 子どもたちが同じ目的感を持って仕事を行うことができたか
- ※内容のバランス : お仕事のミッションに対して世界観を作り出すことができたか。テンポがどうであったか。子どもたちの変化を促すことができたのか。
- ※講師レベル : 仕事内容を子どもたちに対して理解させることができたか。仕事に没入させることができたか。

■ イベント総括補足資料② (参加者属性)

出典：イベント実施後アンケート (全イベントまとめ)

有効回答数 子ども (大人)

海と日本プロジェクトフォーマット：93 (83)

独自フォーマット：87 (82)

【海プロアンケートより】

● 性別

子ども

内容	該当数	割合
男性	57	61%
女性	35	38%

大人

内容	該当数	割合
男性	28	34%
女性	55	66%

● 年齢

子ども

内容	該当数	割合
6歳	6	6%
7歳	26	28%
8歳	19	20%
9歳	19	20%
10歳	12	13%
11歳	6	6%
12歳	3	3%
13歳	1	1%

大人

内容	該当数	割合
30代	34	41%
40代	48	58%

● 住まい

子ども

内容	該当数	割合
東京都	30	32%
神奈川県	16	17%
埼玉県	10	11%
千葉県	20	22%
茨城県	10	11%
静岡県	4	4%
長野県	1	1%

大人

内容	該当数	割合
東京都	29	35%
神奈川県	15	18%
埼玉県	9	11%
千葉県	17	20%
茨城県	9	11%
静岡県	3	4%
長野県	1	1%

■ イベント総括補足資料③ (定量評価)

【海プロアンケートより】

● イベント満足度について

子ども

内容	該当数	割合
楽しかった	93	100%
楽しくなかった	0	0%

大人

内容	該当数	割合
満足した	83	100%
満足しなかった	0	0%

【独自アンケートより】

● 海に関する気持ちに変化について ※複数回答可

子ども

内容	該当数	割合
海についてもっと知りたくなった	58	66%
海を近くに感じるようになった	39	44%
海がもっと好きになった	65	74%
また海に行きたいと思った	69	78%
海のお仕事をして、新しい見かたで海に考えることが出来た	54	61%
海のお仕事をして、自分達の生活と海がつながっていることがよくわかった	62	70%

大人

内容	該当数	割合
海への興味・関心が（より）高まった	57	70%
海への親しみを（さらに）感じるようになった	44	54%
海が（より）好きになった	35	43%
また海に行きたいと思った	49	60%
海のお仕事を体験することで、今までとは違う見方で海について考えることができた	51	62%
海のお仕事を体験することで、自分達の生活と海がつながっていることがより具体的にわかった	44	54%

● 海の自然について考えるきっかけになったか

子ども

内容	該当数	割合
はい	80	92%
いいえ	6	8%

大人

内容	該当数	割合
はい	81	99%
いいえ	1	1%

■ イベント総括補足資料④ (定性コメント)

出典：イベント実施後アンケート等

イベント名	感想
観光船(イルカウォッチ)のお仕事をしよう！	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> イルカはちょっとしか見つからなかったけど、お仕事をすることが楽しかったです。 お仕事は緊張したけど、楽しかったのもっとやりたいと思いました。 野生のイルカに会えて嬉しかったです。 船長さんの運転をすぐ近くで見ることができて楽しかったです。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供なりに与えられた仕事をこなせるようになっていたことが嬉しかったです。 親が手伝わずに子供が主体的な体験をすることが成長につながると改めて感じました。
ライフセーバーのお仕事をしよう！	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海にはいっぱいゴミがあるんだなと思いました。 注意するのではなくお願いをして未然に防ぐことが大切なんだと気が付きました。 みんなで協力しないとできない仕事だと分かりました。 声かけは大変だけど、笑顔で返事をしてくれてやりがいを感じました。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世の中にはいろいろな仕事があって色々な人のおかげで安全安心に生活できていることを学べました。 いつも遊びに来るだけの海が、様々な仕事があると気づききっかけになりました。
水族館のお仕事をしよう！(1回目)	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚を切るのが怖かったけどイルカがよるこんでたから良かったです。 飼育員さんは大変なんだなと思いました。でも楽しかったです。 これからは、イルカだけではなくいろんな海の生き物と仲良くなりたいです。 海の生き物が元気に暮らせるように、海を汚さないように気をつけたいです。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飼育員さんの様々な仕事を見ることができました。 体験を通して、子供の成長を感じました。
定置網漁業のお仕事をしよう！	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚の獲れる量が減ったのを知らなくて、今日知ることができてよかったです。その理由も考えたいです。そして、どうしたら魚が減らないかを考えたいです。 自分が寝ている間にお魚を獲りに行くことに驚きました。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ただ体験するだけでなく、事前の学びや体験の振り返りまで一連の流れを学習できることが良かったです。とても良い経験になりましたので、また機会があれば参加したいです。 漁業の大変さや現状を身をもって知り、もっと魚を大切に食べようと思いました。私達がおいしい魚が食べられるように漁師さん達にこれからも頑張ってもらいたいです。
ひもの作りのお仕事をしよう！	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚を開くのは大変だったけど、出来るようになって自信ができました。家でもチャレンジしたいです。 海にたくさんの種類の魚がいることを知りました。 魚を大事にしようと思いました。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちだけ注文を受けに行ったり、魚をさばいたり、全てが本格的な仕事内容でした。 小田原で採れる魚のことや、ひもの作り方、さばき方を周りの方に伝えていきたいです。
海の観光PRのお仕事をしよう！	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 館山のお魚をたくさん知ることができたので、渚の駅にお友だちを連れてきて案内したいです。 今日学んだお魚のことや観光のお仕事について、いここに教えてあげたいです。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚をさばいて食品に加工することで、食に対する意識が変わることや命についても考えるきっかけとなる体験ができることを、ぜひ伝えていきたいです。本当にありがとうございました。
水中カメラマンのお仕事をしよう！	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 泳いでいるお魚をこんなに近くで見たのは初めて！かわいいお魚たちのためにも海を汚さないようにしたいと思いました。 お魚に気づかれないように静かに泳ぐのが難しかったけど、いい写真が撮れてよかったです。 海はプールと違って深い波があって危険もあるけど、安全に気をつければとても楽しく泳げることがわかりました。また館山の海に遊びに来たいです。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもと海へはよく行きますが、ライフジャケットを着用していれば思ったより安心して見ていられたと思いました。
ネイチャーガイドのお仕事をしよう！	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海にはトンボロなどいろいろな現象があることを知りました。 海のない県に住んでいる人にも、海の魅力を伝えられるようになりたいです。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> 普段体験できない自然や生き物とのふれあいが楽しめました。 見て触れる、そして、学ぶことは子どもにとってとてもよい勉強なんだと再認識しました。

イベント名	感想
<p>簀立て漁のお仕事をしよう！</p>	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁は難しいと思ったけど教えてもらった通りにやったら、ちゃんと魚を獲ることができました。 ・ 小さな魚を海に返してあげることによって来年また美味しく食べられることを知りました。 ・ 今まで知らなかった魚を知れて嬉しかったです。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海にプラスチックのゴミがたくさんあり問題だと思いました。
<p>漁師（船上）のお仕事をしよう！</p>	<p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大変な思いをして獲った魚だからこそ大事に食べたいです。 ・ 網を引っ張るのは疲れるけど魚がたくさん入っているのを見たら元気が出ました。 ・ 見たことのない魚をいっぱい見ることができて楽しかったです。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもがスーパーに並ぶ魚がどのように獲られているかなと考えるような多様な考え方ができるようになればと思います。 ・ 主催者の方々、漁師の方々のご協力のもと子どもたちの主体性を大事に進めてくださったのがとても素晴らしい体験へと繋がりました。子どもの興味を引き出すことの大切さを改めて感じました。
<p>ヨットを造る！運航するお仕事をしよう！</p>	<p>【子ども】</p> <p>ゴミ問題を解決するために、ヨットのお仕事をしてすごいなと思いました。</p> <p>ヨットが動く仕組みを初めて知りました。</p> <p>30秒もヨットが傾いて心配になったけど、そのあと元に戻ってヨットは頑丈だなと思いました。</p> <p>【大人】</p> <p>海なし県に住んでいるので、海の大きさ、においだったり、5感を刺激する事が出来て、子どもたちにプラスになる経験になった事を期待したいです。また、一日楽しそうにしている親としても参加できて良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>浜の調理師のお仕事をしよう！</p>	<p>【子ども】</p> <p>調理師の仕事は大変だけど、作ったご飯を食べて喜んでくれる人がいるのは良いと思いました。</p> <p>お弁当を作ってくれる人がいるから、漁師さんたちは元気なんだなと思いました。</p> <p>これからはお母さんが作ってくれるお弁当を残さず食べたいです。</p> <p>【大人】</p> <p>家族や知人に楽しみながら海と魚の事を学び、沢山の初めてが経験できて良かったと周りに伝えて行きたいです。</p> <p>子どもの自主性を重んじた内容となっており良かったです。</p>
<p>マリンスポーツショップのお仕事をしよう！</p>	<p>【子ども】</p> <p>準備や掃除など思っていた以上に大変だったけど、やってみたら面白かったです。</p> <p>SUPボードが重くて驚いたけど、お客様が喜んでくれたので嬉しかったです。</p> <p>海で楽しく遊ぶために見えないところで働く人がいること、そして海で遊ぶ一人一人も海を汚さないという意識を持つことが大事だと知りました。</p> <p>【大人】</p> <p>波はどうしてできるのかなどたくさんことを教えて頂いたので、今後、子どもと海に行く時に海の見方が変わって良かったです。</p> <p>子どもが海の事や海の仕事について沢山知ることができてとても良かったです。ありがとうございました。</p> <p>家族や知人に海の危険(深さ、波の見方など)についてや、海はきれいにしていかなければならないということを伝えていきたいと思いました。</p>
<p>海苔作りのお仕事をしよう！</p>	<p>【子ども】</p> <p>海苔は機械で作るより、昔の作り方で手作りの方がおいしいと知って驚きました。</p> <p>海苔作りがすごく楽しかったです。もっと海苔が好きになりました。</p> <p>東京湾の海苔漁師さんが減ったと聞き、海苔が貴重な食べ物だと知りました。海苔漁師さんのお話を聞いたので、お友達にも残さず食べてねと教えてあげたいです。</p> <p>【大人】</p> <p>子どもは海苔作りをずっと楽しみにして、学校でも先生や友人に話していました。体験後は教えてね、と言われているようです。海を守る大切さを子どもたちにずっと忘れないでほしいです。</p> <p>海苔を食べる時、作った体験を思い出します。</p> <p>家族や知人に海は身近であるが知らないことが意外と多いこと、そして、その全てが興味深いものであることを話していきたいです。</p>
<p>水族館のお仕事をしよう！ (2回目)</p>	<p>【子供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育さんはイルカの点検をする時、よくイルカのことを見ていることが分かりました。自分がイルカの点検をしている時、イルカの目が良くないことを気づくことができなかったが、飼育員さんは目が良くないことを気づいていてすごいと思いました。 ・ イルカやクジラ、シャチは、同じ種類の生き物で、シャチが基準となっていて、シャチより大きいのがクジラ、シャチより小さいのがイルカということが分かりました。 <p>【大人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが参加前は若干不安なようでしたが、実際に話を聞き、また体験することにより理解を深めることができました。遠くから見ていただけでは気づけなかったことを、身近に体験することにより、海や海の生物に興味を持ち、親しみを感じるようになったと思います。 ・ 短い時間の中で子どもが成長していると感じました。座学も真剣に聞いていた。学校の授業では体験できないことができて良かったです。 ・ 動物との触れ合いだけではなく、「教える」というのはどういう事なのか、子どもたちに伝われば良いと思います。

制作物

■レポート

子ども達が体験終了後に、当日の振り返りと学び・思い出の記録のために制作。小学校の自由研究課題にも活用できるように工夫しています。

ライフセーバーのお仕事レポート

クラス名: _____ 名前: _____

・お仕事レポートの目的 (お仕事体験のきっかけ)

①

・ライフセーバーのお仕事とは?

・ライフセーバーのお仕事で大切なアイテム

_____	_____
_____	_____
_____	_____

ライフセーバーの1日のスケジュール

7:30 ミーティング・準備 どんな服装で行く必要がありますか?

8:30 ビーチクリーン 何を持っていきますか?

9:00 パトロール開始
①水質チェック (5分) ライフセーバーも使う上でのポイントは何ですか?

②ビーチパトロール・トランシーバーの使用 この道具はどんな時に使いますか?

③ライフセーバーの役割 ライフセーバーの役割は何ですか?

④サイン サインの目的は何ですか?

12:00 昼食
パトロール再開
⑤水上パトロール

②

16:30 パトロール終了
ビーチクリーン、ミーティング

17:00 帰路・清掃
・ニッパーガードの使い方

③

お仕事体験をする前と後でイメージが変わったこと

Before お仕事体験をする前

↓

After お仕事体験をした後

・お仕事体験の楽しかったこと、大変だったこと

楽しかったこと 楽しかったこと

大変だったこと 大変だったこと

・お仕事体験を通して学んだこと

④

・海でやっていること、ダメなこと。()に○/×を記入

①砂浜でバーベキュー ()
理由: _____

②砂浜に車を入れる ()
理由: _____

③ペットと一緒に泳ぐ ()
理由: _____

④ゴミを捨てる ()
理由: _____

⑤お酒を飲んで海に入る ()
理由: _____

・パディの目的 (何のために行うのか)

・ビーチクリーンの目的 (何のために行うのか)

・陸上・海上パトロールで気づいたこと

陸上パトロール 陸上パトロール

海上パトロール 海上パトロール

・感想・まとめ

※こちらは、「ライフセーバーのお仕事をしよう!」のものとなります。全てのお仕事で各お仕事に沿った制作物を用意し運営致しました。

■名刺

お仕事終了後に当日のお仕事の講師から「修了証」の位置付けで子ども達に配布。同僚(他の参加者)や講師と名刺交換も行いました。



中央には、子どもたち一人ひとりの名前を記入しました。

※こちらは、「ライフセーバーのお仕事をしよう!」のものとなります。全てのお仕事で各お仕事に沿った制作物を用意し運営致しました。

イベント専用のお金

■いこーよ銀行券

お仕事終了後に当日の給料(報酬)として講師から配布。本銀行券を使って商品(水でっぼうや海の生物グッズ等)を購入できる専用露店を用意しました。

表面



裏面



■ テーマソング「うみのこ」

プロジェクトの世界観を強化し、盛り上げるための施策の一環として、アーティスト金木和也とともに作詞・作曲・製作。

子供達の歌唱も音源にするために、お仕事イベントに参加した子ども達から選定した3名によるレコーディングを実施しました。本楽曲は、お仕事イベント現場や紹介動画等で活用するとともに、アーティストの活動の中でも使用することで、本プロジェクトを継続的・立体的に盛り上げていきます。

作詞

「うみのこ」

作詞・作曲 金木和也

ぼくらはみんな うみのこさ	あかちゃんみたいに わめいて
かあさんみたいに やさしく	ぼくらはまよって さまよってる
いつでもぼくらを みまもってる	ちいさなからだで いっぱずつ
だめになりそうな ときにも	ゆっくり あせらず すすんでる
わらって せなかをおしてくれる	とおくとおく はぐれてしまっても
	ひとりたりとも ひとりじゃないよ
かあさんみたいに やさしく	ぼくらはみんな うみのこさ
つつんで ぼくらをあたためる	なきたくなったら うみにいこうよ
ないて にげだした ときにも	
なにもかも うけとめてくれる	
ふかく ふかく しずんでしまっても	ぼくらはみんな うみのこさ
ひとりたりとも ひとりじゃないよ	かなしくなったら うみにいこうよ
	ぼくらはみんな うみのこさ
	かなしくなくても うみにいこう
ぼくらはみんな うみのこさ	
さみしくなったら うみにいこうよ	
ぼくらはみんな うみのこさ	
さみしくなくても うみにいこう	

子ども達のレコーディングの様子



「うみのこ」を作詞・作曲した金木 和也氏。



子どもたちははじめてのレコーディングに真剣に取り組みました。



子どもたちが「うみのこ」レコーディングに挑戦しました。

レコーディングイベント 記事URL
<https://iko-yo.net/articles/5092>

レコーディングイベント 動画URL
<https://www.youtube.com/watch?v=ZnVzkHJ66wk>

■基本運営マニュアル

お仕事製作のベースとなる運営マニュアルの基本ベースを製作。
 イベント運営を進める都度ブラッシュアップし精度をあげていきました。
 今後のお仕事プログラムの製作に際して使用していきます。

The image displays a collection of overlapping documents from the 'Sea's Job Experience Program' manual. Key sections visible include:

- 海のお仕事プログラムのコンセプト** (Concept of the Sea's Job Experience Program): Discusses the goal of providing a 'Chance' (機会) and 'Challenge' (挑戦) through 'Communication' (コミュニケーション).
- プログラム作りのポイント** (Key Points for Program Creation):
 - 仕事としての世界** (World as Work): Emphasizes 'ストーリー性' (storytelling) and creating a '線' (line) rather than just '点' (points).
 - 演出要素** (Production Elements): Focuses on '主権者側の役作り' (role creation for the main character) and 'ストーリーの中で担うべき役割' (roles to play in the story).
- 実施概要** (Implementation Overview): A table with columns for Title, Location, Participants, Fees, and Other details.
- 受付/その他** (Reception/Other): Details about staff assignments, materials, and distribution.
- 共通備品** (Common Equipment): A list of items like tables, chairs, and first aid kits.
- 緊急体制/連絡** (Emergency System/Contact): A flowchart for handling emergencies, involving staff and external agencies like fire and police.
- 進行スケジュール** (Progress Schedule): A timeline from 00:00 to 00:00 detailing the flow of the event, including registration, program execution, and closing.
- 【進行】** (Progress): A central section detailing the execution of the program, including 'プログラム内容の主項目を記載' (Recording main items of program content) and 'プログラムの説明' (Program explanation).

イベント概要

「海のお仕事 こども会議」は、親子で海のお仕事体験を振り返ってもらうこと、そして、海をより好きになってもらうことを目的として企画しました。海のお仕事紹介パネル展示やお仕事体験映像の放映、海クイズやテーマソング「うみのこ」のライブを実施し、親子が体験を振り返るとともに、楽しい思い出を作ってもらうことにより、海により関心をもってもらえることを企図しました。

イベントの最後には、お仕事イベントに参加してくれた子どもたち一人ひとりに表彰状として海のお仕事図鑑を贈呈。参加してくれた子どもたちからは、「海についてもっと知ることができました」「来年もいろいろな仕事をやってみたいです」など海への関心が高まったコメントもあがり、価値のある場を形成できたと考えております。

イベント名	開催場所	開催日	参加人数
海のお仕事 こども会議	東京都・港区	11月10日(日)	計41名 (子ども20名、大人21名)



海をテーマに会場を装飾しました。



各お仕事を紹介するパネルを展示しました。



海に関する謎解きに挑戦しました。



動画で海のお仕事体験を振り返りました。



海クイズにも挑戦しました。



テーマソング「うみのこ」ライブを実施しました。



表彰状(海のお仕事図鑑)を授与しました。

制作物

■ 海のお仕事図鑑

子ども達が実際に体験したお仕事の紹介と、その体験の様子を写真と子ども達のレポートを引用してまとめた全36ページからなる冊子。お仕事会議の場で、表彰式の形式で子ども達一人一人にお渡ししました。

子ども達の思い出アルバムとして、また、今後の取組みを各自治体や事業者へ提案するための資料の位置付けとして製作しました。

海のお仕事図鑑 (表紙・裏面)

海のお仕事を体験してくれた子どもたちへの表彰状となっております。



本事業を通して、保護者の方へ伝えたいメッセージを載せております。

※海のお仕事紹介ページは、14種のお仕事全て制作しております。
 こちらは「ライフセーバーのお仕事」の抜粋となります。

海のお仕事図鑑(海のお仕事紹介)

2 ライフセーバーのお仕事

どんなお仕事?
 浜で「浜を歩く人」を意味します。パトロールを行うなど、海水浴場の安全を適切に管理し、浜の事故を防ぎます。もし事故が起きたときには、すぐに救急活動を行います。また、子どもも大人も安全に楽しく遊べるように、安全の指導や、迷子になってしまった子供の保護、浜の環境なども行います。

実施場所: 千葉県館山市 北浜海岸海水浴場 協力: Plan1株式会社

子どもたちのお仕事レポートからまとめています。またお仕事を体験した子どもたちの生の声や、事業者からのメッセージを載せております。

ライフセーバーのある1日のスケジュール

7:30	ミーティング・準備
8:30	ビーチクリーン
9:00	パトロール開始 (本番チェック(出水))
12:00	昼食
16:30	パトロール終了
17:00	ミーティング

感じたこと、伝えたいこと

「ビーチクリーンの目的
ごみがいっぱい!」
あぶないごみがないかどうか
たしかめるためにやる。

「どんなゴミがひろえたかな?」
ガラス、紙、プラスチック
ビールのびん

「トランシーバーを使うときの
ポイントは?」
ゆっくり、はっきりと言う。
話し終わったら「どうぞ!」って言う。

「海上パトロールのポイントは?」
くあいが高くて
遠ざけているひとがいらないか
浜の中にも気をくばらなければ
ならないと言っていた。

参加してくれたみんな

さくら はやと	しもむら ゆう
さくら ひかる	日ノ下 しんとろう
しみず あずま	やまざき まなつ
しみず かい	よしむら はやと
しみず りつさ	よしむら みる

お仕事の実績からメッセージ

ライフセーバーは海岸に立ち、海を遊ばしに来た人たちの安全を守ります。いざという時にはレスキュー(救助)しますが、事故を未然に防ぐために海水浴場を適切に管理することが大切な仕事です。浜には危険もありますが適切な準備ができる場所です。安心して楽しんでもらえるようにサポートするので、みなさんも事故を防ぐための救助、救助の先輩をもっと、もっとと海を楽しんでください!

その他のお仕事紹介ページ

Copyright © 海のお仕事図鑑プロジェクト実行委員会

29

海のお仕事図鑑(テーマソング「うみのこ」)

本事業のコンセプトや、お仕事の流れ、子どもたちの参加頂いたレコーディング様子や、テーマソング「うみのこ」の歌詞を載せております。

「うみのこ」レコーディングの様子が写真で紹介されています。また、歌詞のスクリーンショットも掲載されています。

「うみのこ」

ぼくらはみんな うみのこ
 かあさんみたくに やさしく
 いつでもぼくらを みまもってる
 だめになりそう なときにも
 わらって、せなかをかかしてくれる

あかちゃんみたくに おめいて
 ぼくらを まよって きまよってる
 ちいさなからだで いっぱずつ
 びっくり あやらずずずんてる

ぼくらはみんな うみのこ
 なまたくなったら うみにいこうよ

ぼくらはみんな うみのこ
 かなしくなったら うみにいこうよ

ぼくらはみんな うみのこ
 かなしくなっても うみにいこうよ

ぼくらはみんな うみのこ
 まみしくなったら うみにいこうよ

ぼくらはみんな うみのこ
 まみしくなっても うみにいこうよ

海のお仕事体験イベントの世界観づくり

コンセプト 3つの柱に支えられ実現する

- 海を遊び場く環境を海に慣れる人から子供達へ伝える
- “実際の仕事”で“実際の仕事”体験を“仕事の達人”が提供する
- 日常生活における課題や行動を基盤すキッカケを考える

Chance - 機会 - Challenge - 挑戦 - Change - 変化 -

お仕事のながれ 夢中になってもらうための体験づくりを準備しました。

入社式 → 研修 → お仕事 → レポート作成 → 結年の受け取り → お買物タイム

スタッフ紹介

海のお仕事と関係の深いスタッフをご紹介します。海のお仕事と関係の深いスタッフをご紹介します。海のお仕事と関係の深いスタッフをご紹介します。

山本 真 (代表)

小川 健吾 (副代表)

佐藤 真 (代表)

佐藤 真 (代表)

小川 健吾 (副代表)

本事業のコンセプトや、お仕事の流れ、スタッフ紹介など

■ お仕事紹介パネル

14種のお仕事紹介をパネル化し、子どもたちが体験した内容を振り返ることができるとともに、体験していない他のお仕事へも関心を持ってもらえるようにしました。



■ お仕事体験の映像

お仕事図鑑プロジェクトのコンセプトや個別の体験の内容をアーカイブした資料映像として製作。こども会議イベント時の放映、WEBでの波及のほか、今後の取組拡大のための説明用の資料としても活用してまいります。



動画URL

<https://youtu.be/XRr8X4SfVGM>



■海クイズ

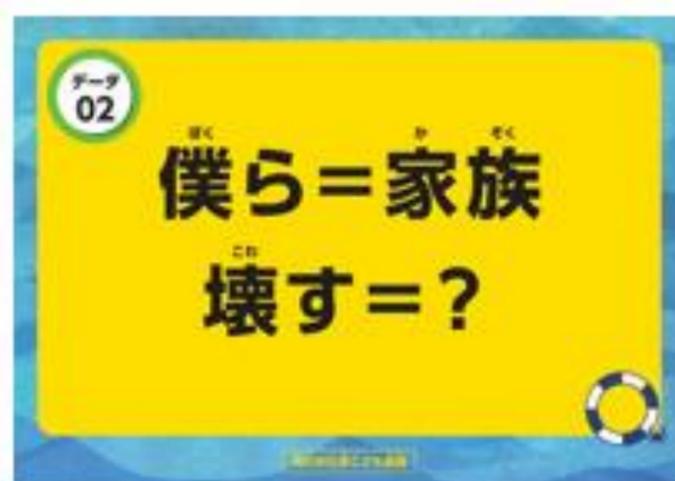
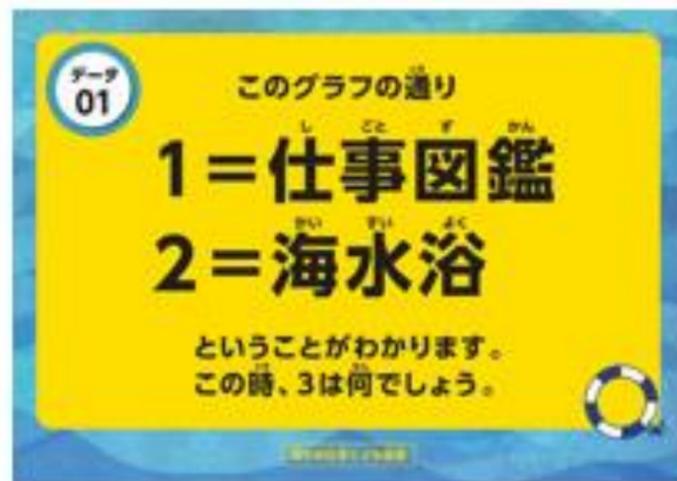
こども会議イベントにおける子ども達向けの催し用として製作。
海のお仕事体験での学びも活用できる内容にしました。

<p>海の安全を守るライフセーバーさんはどれ？</p> <p>① ② ③ ④</p>	<p>"トンボロ"ではない島はどれ？</p> <p>① ② ③ ④</p>	<p>たてやま市のゆるキャラ「ダッペ」だれ？</p> <p>① ② ③ ④</p>	<p>"イルカ"と同じ仲間は何？</p> <p>① ② ③ ④</p>
<p>このロープのむすび方、なんと言う？</p> <p>①おとこむすび ③もやいむすび ②ふたえむすび ④まさむすび</p>	<p>海苔を育てているのはどれ？</p> <p>① ② ③ ④</p>	<p>鰺 鯖 鰯 鯛 あじ さば ひらめ たい</p> <p>この漢字、なんと読む？</p> <p>鳥賊</p> <p>①とりきぞく ③いか ②たこ ④いわし</p>	<p>前から来た船、どうやってよける？</p> <p>①お互い右によける（右側通行） ②お互い左によける（左側通行） ③お互い一時停止 ④その時によって動きを変える</p>
<p>地球がサッカーボールくらいなら地球の水を全部集めるとどれくらいの大きさになる？</p> <p>①野球ボール ②ゴルフボール ③ビー玉 ④ラグビーボール</p>	<p>海水浴場のこの旗、どうゆうこと？</p> <p>①おおいでOK！ ②魚をつかまえないで！ ③足がつかません！ ④サメがいます！</p>	<p>小田原のひもの、今が旬の魚は？</p> <p>①キンメダイ ②アジ ③ホッケ ④メンダコ</p>	<p>水中カメラマンが撮影したこの生き物ってなに？</p> <p>①ビグザム ②アカグツ ③カスザメ ④ミドリフサアンコウ</p>
<p>アミのしかけは世界共通。どういうしくみ？</p> <p>①魚はカベにぶつかると沖に曲がる特徴を使う ②魚のエサをアミの中にしかける ③アミに電気が流れていて、魚をおどろかす。 ④手なづけたカモメをアミのまわりにおよがせる</p>	<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <p>海のお仕事体験で学んだことから答えを導き出すことができるよう問題を作成しました。</p> </div>		

■海の謎解き(パネル)

海のお仕事こども会議の会場回遊を促す目的で製作。

海を未来に「じぞく」させることをテーマにおき、お仕事紹介パネルを見て回ることで、謎が解けるように製作しました。



レポート・波及用素材

各素材は、「いこーよ」に連携し、WEBサイト上に掲載、展開。

■ レポート記事

イベント名	イベントレポートURL
観光船(イルカウォッチ)のお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/174016/news/48109
ライフセーバーのお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/174018/news/48309
水族館のお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/174019/news/48579
定置網漁業のお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/174043/news/48586
ひもの作りのお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/174023/news/48673
海の観光PRのお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/177430/news/49164
水中カメラマンのお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/178419/news/49167
ネイチャーガイドのお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/174040/news/49273
簀立て漁のお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/177438/news/49406
漁師（船上）のお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/177438/news/49406
ヨットを造る！運航するお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/177441/news/49841
浜の調理師のお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/177433/news/49851
マリンスポーツショップのお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/178436/news/50081
海苔作りのお仕事をしよう！	https://iko-yo.net/events/178402/news/50077
テーマソング「うみのこ」レコーディング	https://iko-yo.net/articles/5092
海のお仕事 ども会議	https://iko-yo.net/specials/kids_conference

■ 体験動画

イベント名	動画URL
ライフセーバーのお仕事をしよう！	https://youtu.be/zCdIjZDQOYQ
水族館のお仕事をしよう！	https://youtu.be/UD2IXtcZFFk
ひもの作りのお仕事をしよう！	https://youtu.be/xj_qpJlxwI0
漁師（船上）のお仕事をしよう！	https://youtu.be/3W3PdXfPz5E
海苔作りのお仕事をしよう！	https://youtu.be/5zRQvYJt8AI
海のお仕事全体験まとめ動画	https://youtu.be/XRr8X4SfVGM

【いこーよとの掲載携イメージ】

海のお仕事図鑑WEB

https://iko-yo.net/partners/uminohi_oshigoto



テーマソング「うみのこ」レコーディング、海のお仕事 ども会議 イベントレポート



事業施策詳細 - WEB事業 -

企画設計の要旨等

■ 設計コンセプト

WEB事業の指針となるコンセプトを設計しました。

海のお仕事に関する“本物”の声を
情報として提供する。

“仕事の達人”が提供する“本物の仕
事”体験への道筋を提供する。

継続的な発信を見据えた普遍的な
情報を提供する。

Chance
— 機会 —

Contact
— 接点 —

Continuity
— 継続性 —

■ 制作時のポイント

制作を具体化する際の枠組み・指針設定を行いました。

- 単なる情報サイトにならず、変化をもたせるために娯楽・ゲーム性のあるコンテンツなども備えたWEBサイトにすること。
- 海のお仕事に実際に携わる人々へのインタビューに基づく「思い」の入った信頼性の高い情報コンテンツとすること。
- 自ら興味をもって「海のお仕事」情報をWEBサイトで確認する適正年齢を小学4年生以上の子どもと仮定し、同年齢以上の子供が読んで理解できる内容、用語、漢字、言い回しで表現すること。
- 親しみやすく、興味を引くデザインやイラストを用いること。

WEBページ

「海のお仕事図鑑」WEBでは、海のお仕事をアーカイブ紹介するとともに、お仕事体験が子どもに与える影響を脳科学視点で論評した記事や、体験イベントの募集告知、適職診断コンテンツなどを具備しております。

トップページ



親子のお仕事体験はメリットだらけ！ 子供の好奇心の伸ばし方も

2019年6月28日 | 有馬巴姫 | あとで読む 0

親子で育む体験や経験によって、子供の好奇心や興味を伸ばしたいと思う親は多いはず。さらに、「お仕事体験」のような大人の社会を疑似体験することは、子供にとっても貴重といえますよね。

東北大学加齢医学研究所の瀧崎之教授 Photo:Yoshinori Kurosawa

そこで今回は、脳医学者で東北大学加齢医学研究所の瀧崎之教授に、親子で参加する「お仕事体験」の魅力や、参加する際のポイント、子供の好奇心の伸ばし方について教えてもらいました。

WEBページ

「海のお仕事図鑑」WEBでは、海のお仕事をアーカイブ紹介するとともに、お仕事体験が子どもに与える影響を脳科学視点で論評した記事や、体験イベントの募集告知、適職診断コンテンツなどを具備しております。

トップページ



海のお仕事図鑑WEB URL

https://iko-yo.net/partners/uminohi_oshigoto

海のお仕事を“好きなこと”からも検索できるように設計しました。

親子でお仕事体験メリットを専門家へインタビューを行い掲載しました。



記事URL

<https://iko-yo.net/articles/4681>

海のお仕事紹介ページ

※全31種のお仕事紹介を掲載しました。

海のお仕事紹介ページ URL

https://iko-yo.net/partners/uminohi_oshigoto/list



NO	掲載お仕事一覧
1	漁師のお仕事
2	ライフセーバーのお仕事
3	船上ガイドのお仕事
4	気象予報士のお仕事
5	水産仲卸業のお仕事
6	塩作り職人のお仕事
7	シーアーティストのお仕事
8	水中カメラマンのお仕事
9	ドルフィントレーナー(水族館飼育員)のお仕事
10	海上保安官のお仕事
11	海女・海人のお仕事
12	航海士のお仕事
13	機関士のお仕事
14	通信士のお仕事
15	船舶料理士のお仕事
16	水先人のお仕事
17	海事代理士のお仕事
18	運用管制官のお仕事
19	造船業のお仕事
20	海洋研究開発機構のお仕事
21	ダイビングインストラクターのお仕事
22	海上自衛隊のお仕事
23	特殊救難隊のお仕事
24	船医のお仕事
25	ネイチャーガイドのお仕事
26	養殖業のお仕事
27	海洋生物研究者のお仕事
28	寿司職人のお仕事
29	魚屋のお仕事
30	通関士のお仕事
31	水産加工業のお仕事

海のお仕事図鑑WEB (海のお仕事紹介ページ)

海のお仕事紹介 詳細ページ URL

https://iko-yo.net/partners/uminohi_oshigoto/work10

海のお仕事プロフェッショナルの方へインタビューした内容を掲載しました。
また、小学4年生からでも読んで理解できるような文言の厳選、ルビ振りを行っております。

海上保安官のお仕事

海や川などの水域で、船舶や航空機にまつる危険を防止し、その安全を確保する。また、海上の交通の安全・安心を守るため、海や川で発生した事故・事件の調査・捜査や救助活動を行う。また、海や川で発生した事故・事件の調査・捜査や救助活動を行う。また、海や川で発生した事故・事件の調査・捜査や救助活動を行う。

お仕事のやりがい

海上保安官は、海で発生した事故・事件の調査・捜査や救助活動を行う。また、海や川で発生した事故・事件の調査・捜査や救助活動を行う。また、海や川で発生した事故・事件の調査・捜査や救助活動を行う。

たいへんなこと

海上保安官は海や川で発生した事故・事件の調査・捜査や救助活動を行う。また、海や川で発生した事故・事件の調査・捜査や救助活動を行う。また、海や川で発生した事故・事件の調査・捜査や救助活動を行う。

ある日の1日の仕事の流れ

06:30	(海上保安学校学生の1日) 起床 (起床整列・体操・清掃)
07:10	朝食
08:20	授業開始
08:45	授業
12:00	昼食
13:00~17:00	授業、授業終了後体育館活動
17:15	夕食・入浴
22:15	検校門閉
22:30	退社・酒行

どうやってなるの?

海上保安官になるためには、①海上保安大学校校務試験、②海上保安学校校務試験、③海上保安官(有資格者)採用試験のいずれかに合格する必要があります。

海上保安大学校や海上保安学校は定年制で、「現」単位となり、同じ年齢・経歴で生活することになります。学生生活を過ごして、海上保安官に必要な精神、体力、責任感、忍耐力、体力を鍛えます。

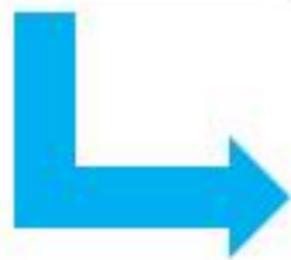
また、勤務地は船舶の海上保安官にも移行の機会があるため、その経験でどんなことでもできるという考えが大切です。

お話を聞きました

海上保安官

海の安全を守るお仕事一覧

- 海上保安官: 海の安全を守るお仕事
- 漁人: 船長を支援するアパイクサーの仕事
- 漁船代理士: 船の購入などを代行して行うお仕事
- 漁業試験官: 漁業試験官のお仕事



※こちらは、海上保安官のお仕事紹介ページとなります。

海のお仕事図鑑WEB (海のお仕事体験紹介ページ)

海のお仕事体験ページ URL
https://iko-yo.net/partners/uminohi_oshigoto/work_program

お仕事体験の👀がスゴイ! いこーよ限定
5つのポイント 詳しくはこちら

【このイベントは終了しました】水産部のお仕事しよう! @静岡県
 イルカの飼育員になりたい! という夢を持つお子様にぴったり! 水産部の飼育員のリアルな仕事体験が出来ますよ! ※小学生向けのプログラムです。 ※9月の開催。
 ※ 2019年10月26日(土) ※ 静岡県下田市

【体験レポート掲載中!】海沿りのお仕事しよう!
 おにぎりにも欠かせない海苔。どうやって海苔はできるのか? さらさら海苔職人さんとなって美味しい海苔を作ろう! ※小学生向けのプログラムです。 ※9月の開催。
 ※ 2019年9月22日(日) ※ 千葉県水戸市

【体験レポート掲載中!】マリンズ系ショップのお仕事しよう!
 新しい海のアクティビティに「スタンドアップパドル(SUP、サーフ)」が人気上昇中! 店内のショップ店員となってお客様をおもてなしましょう! ※小学生向け。
 ※ 2019年9月21日(土) ※ 千葉県船橋市

【体験レポート掲載中!】漁船(船上)のお仕事しよう!
 全国でも珍しい「一網り漁」で漁船のお仕事しよう! 新鮮な魚を無事に運ぶことが出来るのかな? ※小学生向けのプログラムです。 ※今回のプログラムは、9月...
 ※ 2019年9月14日(土) ※ 茨城県東茨城郡大洗町

【体験レポート掲載中!】ヨットを走る! 航海するお仕事しよう!
 太平洋をヨットで横断したキャプテンが海に大層の丁度があることに気づき、キャプテンはヨットをぶついたら帰国出来るよう改造して海を航海する予定! そのヨットを...
 ※ 2019年9月15日(日) ※ 茨城県東茨城郡大洗町

【体験レポート掲載中!】海の調理師のお仕事しよう!
 海の地元の新鮮な魚を使ったお料理! 地域ならではの料理方法を学ぶ! 大洗の魅力が伝わるよう調理してあげよう! ※小学生向け。
 ※ 2019年9月16日(月) ※ 茨城県東茨城郡大洗町

この夏 感動と成長を 海のお仕事を体験しよう!

POINT 1
 海のお仕事を体験しよう! いこーよだけの特別なお仕事プログラム

POINT 2
 仕事をするとお給料がもらえる! 給料をもらってお買い物しよう!

POINT 3
 お仕事体験をしてレポートを書こう! 夏のイベントは自由研究に!

POINT 4
 「海のお仕事 こども会議」に参加してお仕事図鑑をもらおう!

お知らせ
 2019年9月21日 13時25分
 貴重なプログラムを親子で体験!

自分たちでヨットを走ろう! 海を冒険しよう!

「ヨット(ごっこ)」体験も好評なためこのイベントの参加もたい...

こちらのページより体験イベントへの申し込みができます。

海のお仕事図鑑WEB (海のお仕事診断ページ)

海のお仕事診断ページ URL

https://iko-yo.net/partners/uminohi_oshigoto/check/

4つの質問に答えていくことで、納得感のあるぴったりの海のお仕事を診断してくれるコンテンツを制作しました。
※質問内容は分岐により異なります。



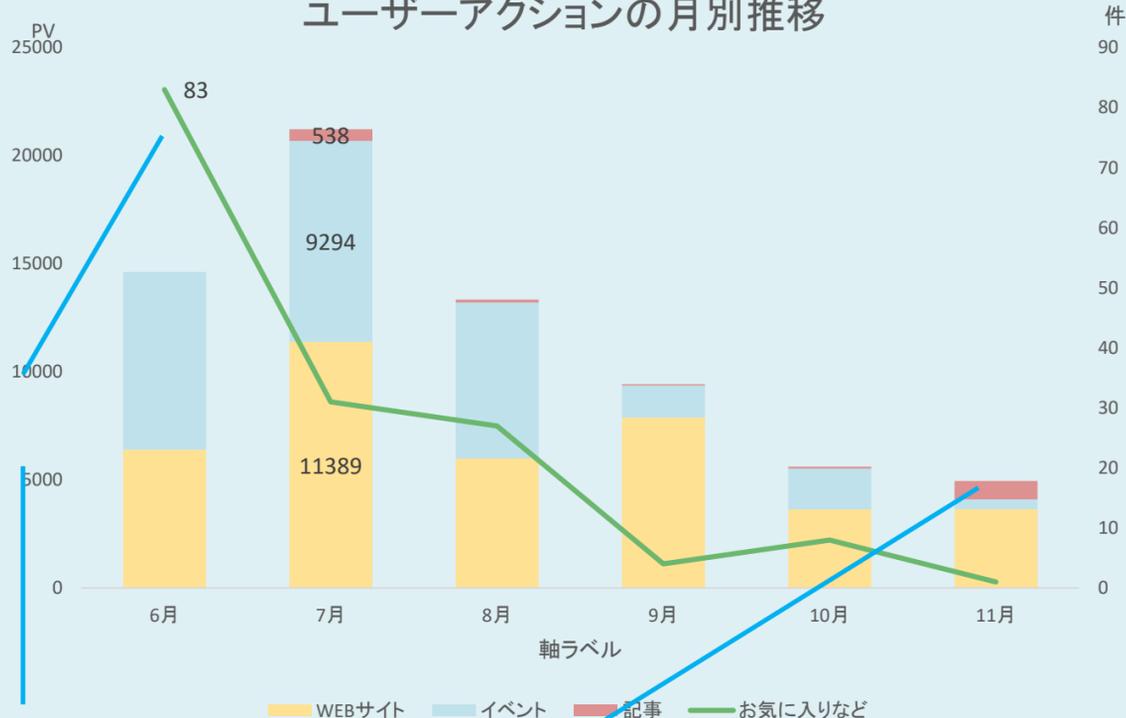
WEBサイトの定量指標等

■ **WEBサイト PV等** こちらは、2019年6月20日～11月30日のデータとなります。

海のお仕事図鑑 総閲覧回数
69,174回以上

海のお仕事診断 参加者
延べ**2,200人**以上

海のお仕事図鑑とお仕事イベントの閲覧回数と
ユーザーアクションの月別推移



夏休みの1か月前にイベント参加を検討していることがわかります。

イベントが終了したためイベントのPVは減少。レポート記事のPVなどが増加していることがわかります。

■ WEBサイト SEO成果

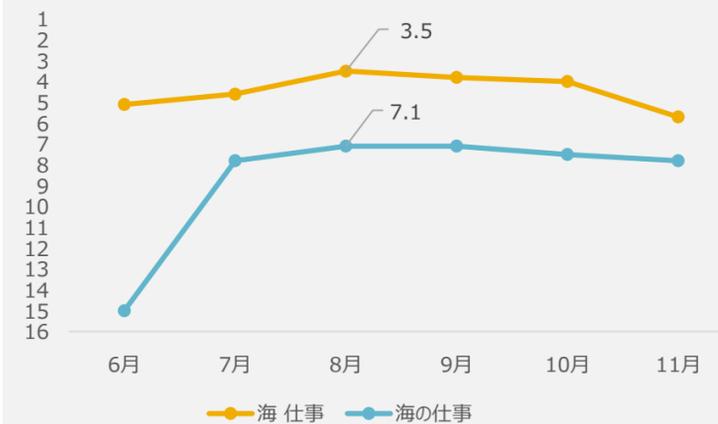
「海 仕事」のワード検索にて
3.5位

「海の仕事」のワード検索にて
7.1位



お仕事体験イベントなどの情報量の多い、8月が上位表示のピークとなっております。

検索順位の月別推移



メディア掲載

掲載実績

WEB



SNS

大洗海の大学Facebook



新聞

朝日小学生新聞

